

2024 学修の手引き

履修ガイド

履修ガイド目次

人材育成像、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー		1
授業	セメスター(2学期制)とクォーター(4学期制)	2
	授業時間	
	集中講義	
	休講・補講	
	欠席	
	オフィスアワー	2~3
単位	単位	3
履修の仕方	授業科目の区分・必修科目・選択科目	
	履修年次	
	履修単位数の目安	
	再履修	
	修得済科目	
	シラバス	
スキルの獲得	3~4	
履修登録	履修登録	4
	履修登録上の注意(履修条件等)	
	履修登録の上限	
	履修登録時期・方法	
	履修登録の訂正	
	履修登録取消制度	4~5
試験	試験	5
	受験資格	
	定期試験における特別措置	
	追試験	5~6
	再試験	6
成績	成績評価	7
	GP(グレード・ポイント)	
	GPA(グレード・ポイント・アベレージ)	
	成績通知	
	成績問い合わせ	
	成績不振の場合について	

進級・卒業・学位	3年次進級要件	8
	卒業要件・学位	
	長期留学する者の進級要件・卒業要件	
	3年次進級要件と卒業要件	8~9
資格取得による単位認定	単位認定する資格の種類	10
	認定の方法	
	国際教養コース選択必修科目について	
各種証明書の発行条件	卒業見込証明書	10
	社会福祉主事任用資格	
	児童福祉司任用資格	
	児童指導員任用資格	
教職課程	教職課程	11
特別プログラム	社会福祉士養成課程プログラム	
中・長期留学	中・長期留学	11~12
カリキュラム	2024年度入学生カリキュラム	13
	2023・2022・2021年度入学生カリキュラム	14
	2020・2019年度入学生カリキュラム	15
	科目ナンバリングとカリキュラムツリー	16~17
	【経営コース】カリキュラムツリー、履修モデル	18~19
	【政策コース】カリキュラムツリー、履修モデル	20~21
	【地域福祉コースおよび社会福祉士養成課程】カリキュラムツリー、履修モデル	22~23
	【国際教養コース】カリキュラムツリー、履修モデル	24~25
	【観光・まちづくりコース】カリキュラムツリー、履修モデル	26~27
【メディア情報コース】カリキュラムツリー、履修モデル	28~29	

人材育成像、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー

◎ 人材育成像

東北公益文科大学公益学部は、育成すべき人材像を以下のように定め、教育活動を行っています。

- グローバルな視野を持ち、地域の人々とともに、地域社会が直面する経済、行政、福祉などの課題に、リーダーシップを持って果敢に取り組む人材

◎ ディプロマポリシー(学位授与方針)

公益学部は、次の方針に基づいて学士(公益学)の学位を授与します。学生の皆さんは、卒業に必要な所定の単位修得を含めた学修活動を通じて、この方針に示した能力を修得することが求められます。

- 幅広い知識と専門知識とともに、地域の人々と連携して、地域を牽引していく実践力を磨くため、カリキュラムを通し、以下の4つの力を身に付ける。
▶1 コミュニケーション力と発信力 ▶2 国際感覚 ▶3 創造力と企画力 ▶4 リーダーシップ

◎ カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施方針)

公益学部は、上述のディプロマポリシーで示した能力を育成するため、体系的な教育課程を編成しています。編成・実施するにあたっての方針は以下のとおりです。

- 基本的な学習能力と幅広い教養を身につけるため、基礎教育科目を配置する。地域社会の現状を理解し課題を発見する上で必要となる知識や、課題解決に向けた専門的な方法論を体系的に学ぶため、専門教育科目を配置する。
- 特定の分野や時代のニーズに則したテーマを対象として、高度な知識やスキルの獲得を目指す特別プログラムを配置する。(2020年度以前入学者)
- 授業運営においては、教員からの一方的な講義だけでなく、学生同士でのグループワークの実施や成果を発表する機会を多く取り入れる。
- 外国語科目を2年次まで必修とするとともに、国際関係論や海外や日本の文化等を学ぶ科目を配置する。更に、英語圏、中国語圏の大学で語学を学ぶ短期語学留学を配置する。
- 地域の人々とのコミュニケーションを図りながら、地域の課題を発見・分析し、問題解決への解を見つけ、提言を行う能力を涵養するため、応用演習科目を配置する。
- 地域企業の創業者から講義を受ける“トップセミナー”を配置するとともに、地域の企業と連携しインターンシップの充実を図り、学生の目的意識に応じた複数のインターンシップを配置する。

授業

◎ セメスター(2学期制)とクォーター(4学期制)

- ・セメスター:1年間を「春学期」と「秋学期」の2つのセメスターに分け、各セメスター14週で1科目を修了し、単位を修得します(試験を実施しない科目は13週で1科目修了となります)。
(1)春学期:4月1日～9月30日、(2)秋学期:10月1日(9月中に授業開始の場合あり)～翌年3月31日
- ・クォーター:各セメスターをさらに2分割(春学期→S1・S2クォーター、秋学期→A1・A2クォーター)し、7週で1科目を修了し単位を修得します。講義を集中的に受講することで、春学期後半(S2クォーター)と夏季休業期間を利用して、長期のインターンシップや海外への中期留学に参加することが可能となります。

◎ 授業時間

授業は1時限を105分とし、月曜日から土曜日の間で、第1時限から第5時限まで行います。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
8:45～10:30	10:40～12:25	13:10～14:55	15:05～16:50	17:00～18:45

◎ 集中講義

各セメスターに開講される科目のうち、一部の科目については、一定の期間に集中して授業を行う場合があります。その場合、授業は1科目につき、1日2～5時限連続して数日にわたり行われます。

◎ 休講・補講

教員のやむを得ない事情等で授業が休講になることがあります。その場合は、あらかじめ掲示板等を通じてお知らせします。また、事前に休講のお知らせができない場合で、授業の開始時刻から30分経過しても授業が行われない時も休講といたします。

なお、休講があった場合は、原則として、これを補うために時間割の空き時間や補講日などを利用して補講を実施します。補講の日程等の詳細は掲示板等を通じてお知らせします。

◎ 欠席

次の場合は、学生からの申し出により、教務学生課で教員に通知する書類を発行します。

欠席した回の授業内容は、科目担当教員の指示に従って自習してください。

(1) 病気・怪我による欠席

医師の診断書またはそれに代わるものを持参して、教務学生課で手続きしてください。

ただし、授業を4回以上欠席する場合は、科目担当教員の判断に委ねられます。

(2) 3親等以内の忌引きによる欠席(往復に要する日数は、別途考慮する。)

・配偶者及び1親等は、7日以内 教務学生課で手続きしてください。

・2親等は、3日以内 教務学生課で手続きしてください。

・3親等は、1日以内 教務学生課で手続きしてください。

(3) 教職課程履修に係る教育実習、介護等体験期間中の欠席

教務学生課で発行する欠席の「期間証明書」を事前に担当教員へ提出してください。

(4) 社会福祉士課程履修に係る福祉施設実習期間中の欠席

教務学生課で発行する欠席の「期間証明書」を事前に担当教員へ提出してください。

(5) インターンシップ履修に係る実習期間中の欠席

教務学生課で発行する欠席の「期間証明書」を事前に担当教員へ提出してください。

(6) その他やむを得ない事由

欠席理由を証明する書類を教務学生課に提出してください。

「やむを得ない」と認められるかどうかは、大学で個別に判断します。

◎ オフィスアワー

すべての教員は、「オフィスアワー」という学生のための時間帯を設けています。この時間帯には、教員は個人研究室で学生の質問や個人的な指導、相談にあたることになっています。その教員の授業を取っているかどうかにかかわらず、気軽に研究室を訪れて、個人的な指導を受けたり相談をしたりしてください。

時間帯は、専任教員については掲示板を見るか直接問い合わせてください。専任教員のメールアドレスは東北公益文科大学ホームページ(<https://www.koeki-u.ac.jp/>)の「教員紹介」の各教員のページで確認してください。非常勤講師は担当授業終了後10分程度、教室または講師控室で対応します。

単位

単位とは、学修時間を表す名称で、個々の授業科目について所定の時間を履修し、試験等により合格と判定されたときに与えられます。1単位あたりの学修時間には、法令上、授業外学修の時間も含まれていますので、各科目のシラバスに従って、予習・復習を行うことが必要です。

単位数は授業科目ごとに定められ、一定の単位数の修得をもって卒業の要件としています。

単位の計算方法については次のとおりです。

(1)講義及び演習については、15時間の講義または演習をもって1単位とします。

ただし、外国語科目については、30時間の講義をもって1単位とします。

(2)実習については、30時間の実習をもって1単位とします。

履修の仕方

◎ 授業科目の区分・必修科目・選択科目

授業科目は、いくつかの区分に分かれていて、それぞれの区分で修得しなければならない単位数が定められています。

また、卒業要件として必ず修得しなければならない科目を「必修科目」、一定の科目群の中から所定の科目を履修しなければならない科目を「選択必修科目」、各自の興味や目的に従い自由に選び、履修することができる科目を「選択科目」といいます。

◎ 履修年次

各科目には、その科目を履修することができる学年(履修年次)が定められていますので、カリキュラム表で確認してください。

◎ 履修単位数の目安

履修単位数は Semester あたり20単位(1年間で40単位)を目安に設定し、「カリキュラムツリー」と「履修モデル」を参考に、3年次終了時点で「卒業見込証明書」の発行条件(履修ガイド p.10参照)を満たすことができるよう、計画的に履修してください。

◎ 再履修

修得できなかった科目については、次期 Semester 以降に再度履修して単位を修得してください。また、必修科目が不合格になった場合は、時間割の構造上、次の学年での履修に制約が生じる場合があり、希望する科目が履修できなくなることがありますので、十分注意してください。

◎ 修得済科目

一度単位を修得した科目を再度履修することはできません。

◎ シラバス

シラバスとは、各科目の概要、授業計画、評価方法などについて詳しく記したものです。教務システム「SIP」でそれぞれの科目のシラバスを検索して確認の上、よく読んでから履修登録を行ってください。

教務システム「SIP」 <https://sip.koeki-u.ac.jp/uprx/>

◎ スキルの獲得

本学では、在学中に皆さんに身につけてほしいスキルとして「コミュニケーション力・発信力」「国際感覚」「創造力・企画力」「リーダーシップ」の4つを定めています。さらに、これらの能力を構成する要素を分解し、合計で22項目のスキルを設定しています。各科目のシラバスの上部には「育成するスキル」を表示しており、

その授業を受ける中で獲得することができるスキルを○印で示しています。いずれも在学中や社会に出た後でも必要とされる能力になりますので、授業の履修計画を考える際は履修モデル、カリキュラムツリー、皆さんの興味関心に加えて、各スキルを身につけることも念頭におくと良いでしょう。

履修登録

各セメスターのはじめに、履修したい科目を登録します。S1・S2クォーターの科目は春学期開始時に、A1・A2クォーターの科目は秋学期開始時に履修登録を行います。夏季・春季集中講義(それぞれ S2 クォーター・A2 クォーター科目に該当)も各学期開始時に履修登録が必要です。詳細は各学期のガイダンスで説明します。

◎ 履修登録上の注意(履修条件等)

科目を登録するにあたり、科目によってはいくつかの履修条件があります。条件については次のとおりです。

(1) 科目名の語尾にローマ数字(I～Ⅷ)が付いている科目は、選択必修の外国語科目を除き、Iから順番に履修・修得すること。

(2) 外国語発展科目のロシア語1～4は、1から順番に履修・修得すること。

(3) 履修条件(指定の前提科目を修得していないと履修できない等)を設けている科目もあるため、シラバスを十分に確認した上で、履修登録を行うこと。

その他、再履修等により時間割上科目が重複する場合や、やむを得ない理由で期間内に登録できない場合は、あらかじめ教務学生課に相談してください。

◎ 履修登録の上限

法令に基づき、履修登録できる上限単位数を定めるキャップ(CAP)制を実施しています(編入生を除く)。1セメスターあたり20単位を基準とし、直前セメスターのGPAにより最大24単位まで登録できます。ただし、発展教育科目と卒業単位外の科目(教職課程独自の科目)、インターンシップはこの上限に含みません。

履修登録の上限単位数(基準値)は、当該セメスターの直前セメスターのGPA(「成績」の欄を参照)に応じて異なります。

【直前セメスターのGPAと上限単位数】

直前セメスターのGPA	履修登録上限単位数
3.0以上	24
1.5以上～3.0未満	22
1.5未満	20

◎ 履修登録時期・方法など

履修登録期間は、学年暦にて確認してください。学年暦は掲示するほか、ガイダンスで配付および大学からのメールで公開します。履修登録は、本学教務システム:SIP(<https://sip.koeki-u.ac.jp/uprx/>)より履修登録期間内に必ず正しく手続きしてください。

◎ 履修登録の訂正

履修登録期間終了後の登録内容の修正は原則認めません。履修登録の内容は、教務システム「SIP」にて各自で確認してください。履修エラー等でやむを得ず訂正の必要がある場合は、履修登録訂正期間中に限り、申請することができます。科目の追加にあたっては、事前に担当教員の許可を得た申請書を期間中に教務学生課へ提出することが必要です。なお履修登録の追加は、履修登録訂正期間後は一切できませんので注意してください。履修登録期間は、学年暦にて確認してください。

◎ 履修登録取消制度

履修登録取消制度は、一旦履修登録した科目を取り消す制度で、履修登録をして授業に出たものの、以下のような理由から履修を取り消すことができます。ただし、必修科目、選択必修科目の取り消しはできません。履修登録期間は、学年暦にて確認してください。

(1) 授業の内容が自分の勉強したい内容と違っていた

(2) 授業についていけるだけの知識が不足していることに気付いた

(3) 健康上、履修科目を減らしたい

なお、履修登録取消期間後の科目の取り消しは一切認めません。期間中に届出がなく、自ら履修を放棄した場合は、「不可」(GP=0)としてGPAが算出されるので、十分注意してください。

試験

試験は原則としてその科目が開講された Semester またはクォーターの最終授業時間に「定期試験」として行いますが、科目によっては定期試験とは別に何回か試験やレポート提出が行われ、それらを総合して成績が評価されるものもあります。また、レポート等が試験に代わる科目もあります。詳しくはシラバスで確認の上、担当教員の指示に従ってください。

なお、定期試験の注意事項については次のとおりです。

- (1) 定期試験受験の際は、学生証が必要です。学生証を持参しなかった場合は、各試験の前に、教務学生課で「定期試験受験許可書」の発行を受けてください。
- (2) 試験時間は原則として105分以内です。
- (3) 試験開始から20分以上遅刻した場合は受験できません。
- (4) 試験開始から20分経過した者は、「定期試験受験許可書」の発行を受けるために遅刻した場合であっても、受験することができません。
- (5) 退室は試験開始30分経過後から認めます。ただし、担当教員から指示があればそれを優先します。
- (6) その他、試験中は監督者の指示に従ってください。
- (7) 受験にあたって不正行為があった場合は、学生の懲戒に関する規程により、懲戒処分となります。詳しくは、「東北公益文科大学学生の懲戒に関する規程」を参照してください。

※レポート課題等の提出には、大学が付与しているメールアドレスを使用しましょう。メールや各種システムでの課題提出の際は、「学籍番号」「氏名」「科目名」を必ず明記し、そのほか、担当教員の指示をすべて順守して提出してください。また、課題提出に関してトラブルを避けるため、送信・受信されているかの確認を各自で行ってください。

◎ 受験資格

- (1) 履修登録した科目のみ受験可能です。未登録科目は受験できません(仮に受験しても無効です)。
- (2) 休学または停学中の場合は受験できません。

◎ 定期試験における特別措置

怪我、病気及び精神等の疾患・障がいがある学生は、申請により教育推進委員会から許可された場合、定期試験において特別措置を受けることができます。障がいがある学生については、教育推進委員会の前に障害学生支援委員会で協議します。

特別措置を希望する場合は、大学所定の「定期試験における特別措置申請書(様式 1)」と「定期試験特別措置申請科目一覧(様式 2)」を教務学生課に提出してください。

◎ 追試験

次の理由で定期試験を欠席した授業科目については、本人が願い出、認められた場合は追試験を実施します。追試験を希望する場合は、追試験受験願(大学所定のもの)に欠席理由を証明する書類(医師の診断書など)を添付して、教務学生課に提出してください。

- (1) 病気、けが(医師の診断書が必要)
- (2) 忌引(配偶者及び1～3親等に限り、配偶者及び1親等は7日以内、2親等は3日以内、3親等は1日以内(ただし、往復に要する日数は別途考慮する。))
- (3) 就職に関する事由
- (4) その他やむを得ない事由

なお、各項目に該当する事由は次の表のとおりです。

項目	具体的な事由	必要書類・摘要
病気が	(i) 本人の病気、けが	・医師の診断書または氏名・通院日明記の「領収書」等。2日以上欠席の場合は治療期間が記載されていること。 ・健康管理室が発行する確認書
引	(i) 配偶者及び3親等以内の危篤または死亡（配偶者及び1親等は7日以内、2親等は3日以内、3親等は1日以内）	・医師の診断書、死亡診断書の写しまたは会葬礼状等
就職に関する事由	(i) 採用試験(筆記試験及び面接試験) (教員採用試験、公務員採用試験及び内定先から出席が必須とされた会合を含む)	・企業、官公庁等発行の証明書※(試験日時や会場が明記され、社印等が押印されていること)または受験票等 ※様式は大学で配付します。
	(ii) 大学院等入学試験	・受験票(試験日時や会場の明記がない場合募集要項等)
	(iii) 本学の教育課程の延長上にある資格取得のための試験	・受験票(試験日時や会場の明記がない場合募集要項等)
その他やむを得ない事由	(i) 子、兄弟姉妹の結婚(1日以内)	・招待状等
	(ii) 出産(本人は7日以内、配偶者は1日以内)	・出生証明書の写し
	(iii) 公共交通機関の不通・遅延	・遅延証明書
	(iv) 災害、自宅の火事	・り災証明書の写しまたは被災状況が確認できる書類等
	(v) 大学コンソーシアムやまがたの単位互換制度における試験日の重複	・(大学から求められた場合のみ) 試験日時が確認できる書類等
	(vi) 本学の教育課程における資格取得に係る実習(教育実習、介護等体験、社会福祉士国家試験受験資格取得に係る実習)	
	(vii) 本学正課科目「インターンシップ」	
	(viii) 部活動等における「学生の日本代表」又は「全国大会クラス」以上の大会で大学が認めたものへの参加	・出場が確認できる書類等 ※文化系の団体大会等は個別に判断するので、定期試験開始日から起算して45日前までに、教務学生課に相談すること。
	(ix) 裁判員候補者、裁判員または補充裁判員	・裁判所が発行する証明書
	(x) 学部長(または教育推進委員長)が受験を許可した場合	

※ いずれの場合も往復に要する日数は別途考慮する。

※ その他やむを得ない事由に、「骨髄移植、生体臓器移植等に係るドナーとなった場合」を含む。この場合、「医師が発行する証明書」が必要。

※ 科目担当教員の判断で、授業時間中に実施されるテストは学期末試験にはあたらないので、欠席した場合は各担当教員に指示に従うこと。

◎ 再試験

成績不良のため単位の修得ができなかった場合、原則として再試験は行いません。ただし、卒業年次でやむを得ない事情により教育推進委員会が承認する場合には、再試験を行うことがあります。なお、再試験の成績の評価は「良」以下となります。

成績

◎ 成績評価

成績は、「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」で表し、「可」以上を合格とします。成績評価は次の基準により行われます。

◎ GP(グレード・ポイント)

履修した科目の成績評価を数値化したものです。1単位あたり、「秀=4」、「優=3」、「良=2」、「可=1」、「不可=0」に置き換えます。2単位の科目の成績評価が「秀」の場合、その科目のGPIは「8」となります。

判定	評価	評点	GP	内容
合格	秀(S)	90~100	4	特に優秀な成績
	優(A)	80~89	3	すぐれた成績
	良(B)	70~79	2	その科目の要求を満たす成績
	可(C)	60~69	1	合格と認められる最低の成績
不合格	不可(D)	59点以下	0	合格と認められる最低の成績に達していない
GPA対象外	認(認定)	—	—	編入学、単位互換、科目等履修等

◎ GPA(グレード・ポイント・アベレージ)

履修した科目の成績評価を数値化し、1単位あたりの平均点を算出したものです。小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで算出します。GPAは履修登録上限単位数の決定(履修ガイド p.4参照)や奨学金の継続審査等に使用します。

【算出例】

科目名	単位数	評価	GP	GP×単位数
基礎演習 a	2	A	3	6
心理学	2	C	1	2
政治学	2	D	0	0
社会学	2	B	2	4
物理学	2	S	4	8
英語 I	1	A	3	3
英語 II	1	B	2	2
英語 III	1	A	3	3
情報リテラシー	2	S	4	8
基礎簿記 I	2	B	2	4
社会福祉学 a	2	S	4	8
国語基礎(GPA対象外)	0	A	—	—
合計	19	—	—	48

$$GPA = 48(GP \times \text{単位数}) \div 19(\text{単位数}) = 2.5 (\text{小数点第2位四捨五入})$$

◎ 成績通知

成績は原則として次semester初めにアドバイザー教員から配付します。保証人にも公開されます。

◎ 成績問い合わせ

成績について、質問や異議がある場合は申請することができます。教務学生課にて手続期間や条件等を確認し手続きをしてください。

◎ 成績不振の場合について

学則第 41 条第 2 号により「病気その他の理由で成業の見込みがない者」は除籍の要件に該当します。成績不振の状態になった場合は、その原因が何かを考え、アドバイザーなど周りの人の意見を良く聞いて、その状態が長く続かないようにしてください。

進級・卒業・学位

◎ 3年次進級要件

3年次に進級するためには、2年次終了時まで各科目区分に定められた3年次進級に必要な単位を修得しなければなりません。詳細は次の表のとおりです。1年次から2年次、3年次から4年次への進級要件はありません。ただし、学長が特に認めた場合は、この限りではありません。

◎ 卒業要件・学位

卒業するには、4年間以上在学し(休学期間は含まれません)、以下の表に示す卒業要件を満たさなければなりません。

万が一休学した場合は、入学から4年後の卒業はできなくなります。

卒業とともに学士(公益学)の学位が与えられます。

◎ 長期留学する者の進級要件・卒業要件

留学期間を含めて合計4年間で卒業できるようにするため、留学する学生を対象に3年次進級要件の緩和や専門演習の履修方法を変更しています。詳細については「長期留学」(「中・長期留学」の欄)を参照してください。

◎ 3年次進級要件と卒業要件

【2024年度入学生】

科目区分		3年次進級要件	卒業要件	
基礎教育科目	スタディー導入科目		8単位	
	リテラシー科目	外国語科目	8科目8単位以上(但し同一言語)	
		情報科目	4科目8単位	
		キャリア科目	「キャリアデザイン a」、「キャリアデザイン b」 (各 2 単位、合計 4 単位)必修	合計30単位以上
	共通科目	人文社会系	6単位以上	
		STEAM 系	4単位以上(選択必修から2単位含む)	
SDGs 導入科目		2単位以上		
専門教育科目	共通専門科目	・基礎演習 a, b ・現代公益論 I, II ・選択必修語学 I ~IV ・情報リテラシー ・データリテラシー (計14単位)を含む、 50単位以上の単位修得	6単位以上(選択必修から1単位含む)	合計62単位以上 (発展教育科目と合算して)
	経営コース		所属コースから30単位以上 (共通専門科目から最大6単位まで算入可能)	
	政策コース			
	地域福祉コース		国際教養コースに所属する場合は、 選択した言語の語学科目は全て必修	
	国際教養コース			
	観光・まちづくりコース			
	メディア情報コース		4単位以上	
	応用演習科目		2科目8単位	
	専門演習			
発展教育科目	社会福祉士養成課程		合計62単位以上(専門教育科目と合算して)	
	外国語 発展科目	ロシア語 日本語		
		留学外国語		
リメディアル科目		国語基礎および数学基礎		
合計		50単位以上	124単位以上	

【2023・2022・2021 年度入学生】

科目区分		3年次進級要件	卒業要件	
基礎教育科目	スタディー導入科目		8単位	
	リテラシー科目	外国語科目	8科目8単位以上(但し同一言語)	
		情報科目	4科目8単位	
		キャリア科目	「キャリア入門a,b」、「キャリアと人生a,b」 (各1単位、合計4単位)必修	
	共通科目	人文社会系	6単位以上	
		STEAM系	4単位以上(選択必修から2単位含む)	
SDGs導入科目		2単位以上		
専門教育科目	共通専門科目		6単位以上(選択必修から1単位含む)	
	経営コース		所属コースから30単位以上 (共通専門科目から最大6単位まで算入可能)	
	政策コース			
	地域福祉コース		国際教養コースに所属する場合は、 選択した言語の語学科目は全て必修	
	国際教養コース			
	観光・まちづくりコース			
	メディア情報コース		4単位以上	
	応用演習科目		2科目8単位	
	専門演習		合計62単位以上(専門教育科目と合算して)	
社会福祉士養成課程				
発展教育科目	外国語発展科目	ロシア語 日本語	合計62単位以上(専門教育科目と合算して)	
		留学外国語		
	リメディアル科目			
合計		50単位以上	124単位以上	

【2020・2019・2018 年度入学生】

科目区分		3年次進級要件	卒業要件	
基礎教育科目	スタディー導入科目		8単位	
	教養科目	I群	4単位以上	
		II群	4単位以上	
		III群	4単位以上	
リテラシー科目	外国語科目	8科目8単位以上(但し同一言語)		
	情報科目	4科目8単位		
専門教育科目	地域経営系	系共通科目	58単位以上(発展教育科目と合算して) ※所属している系から35単位以上修得すること ※所属している系共通科目及び特別プログラム基礎科目から合計6単位以上修得すること ※国際教養コースに所属する場合は、選択した言語の語学科目は全て必修	
		経営コース		
		政策コース		
		地域福祉コース		
	交流文化系	系共通科目		
		国際教養コース		
観光・まちづくりコース メディア情報コース				
専門演習		2科目8単位		
発展教育科目	特別プログラム	特別プログラム基礎科目	58単位以上(専門教育科目(専門演習を除く)と合算して) ※国際教養コース所属の場合、「短期語学留学」又は「実践外国語」より選択必修	
		社会福祉士養成課程		
	外国語発展科目	ロシア語 日本語 留学外国語		
人材育成強化科目	キャリア科目	基本科目	10単位以上	
		発展科目	※「キャリア入門a,b」、「キャリアと人生a,b」必修 ※応用演習科目から4単位以上修得すること	
リメディアル科目		「国語基礎1」「数学基礎1」	「国語基礎1・2」及び「数学基礎1・2」	
合計		50単位以上	124単位以上	

資格取得による単位認定

◎ 単位認定する資格の種類

- ・TOEIC 550～649 ⇒ 「TOEIC(中級)」の1単位を認定
- ・TOEIC 650～ ⇒ 「TOEIC(中級)」「TOEIC(上級)」の2単位を認定
- ・TOEIC 700～ ⇒ 「TOEIC(中級)」「TOEIC(上級)」「Intensive TOEIC」の3単位を認定
- ・ITパスポート ⇒ 「計算機基礎理論」「コンピュータシステム論」の2単位を認定
- ・基本情報技術者 ⇒ 「計算機基礎理論」「コンピュータシステム論」「システム開発技術論」「企業活動と情報システム」「応用プログラミング」「データ構造とアルゴリズム」の6単位を認定
- ・日商簿記2級以上 ⇒ 「基礎簿記Ⅰ」「基礎簿記Ⅱ」の4単位を認定

◎ 認定の方法

上記の資格を入学前または本学在学期間中に取得した学生は、各セメスターの履修登録期間中に、取得した資格認定証の原本を添えて教務学生課へ「単位認定申請書」を提出してください。教授会の承認を得た上で、単位を認定します。この場合は当該期の成績評価の授業科目の評価欄に「認」と表記されます。ただし、該当する科目の単位を既に修得済みの場合は認定されません。

◎ 国際教養コース選択必修科目について

国際教養コースに所属する学生は、「短期語学留学 1」「実践外国語(大学名)」を選択必修科目としますが、以下の要件を満たす学生については申請により選択必修を免除し、通常を選択科目とします。
英語: TOEIC Listening & Reading Test 590、TOEFL ITP/TOEFL PBT 500、TOEFL CBT 173、TOEFL iBT 61以上
中国語: 中国語検定試験 3級合格者

各種証明書の発行条件

◎ 卒業見込証明書

以下の条件を満たしている場合に発行できます。

- (1) 3年以上在学していること。
- (2) 修得単位数が100単位以上(卒業に必要な単位)であること。
- (3) 「専門演習Ⅰ」の単位を修得していること。(または、専門演習(留学)Ⅰa,bのいずれかの単位を修得しているか、専門演習(留学)Ⅰcを履修中であること。)
- (4) (2018年度～2020年度入学生の場合)「国語基礎2」「数学基礎2」を修得していること。
(2021年度以降入学生の場合)「国語基礎」「数学基礎」を修得していること。

◎ 社会福祉主事任用資格

以下の科目より3科目以上修得し卒業した場合に発行できます。()内に記載がある科目は、2020年度以前入学生の対象科目です。

社会福祉学a及びb 社会保障論a及びb(社会保障論Ⅰ及びⅡ)(福祉行財政と福祉計画Ⅰ及びⅡ)
公的扶助論 障害者福祉論 高齢者福祉論 児童・家庭福祉論(児童福祉論) 社会学 心理学
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ及びⅡ(地域福祉論 a 及び b) 社会福祉調査 医学一般
ソーシャルワークの基盤と専門職a及びb(ソーシャルワーク総論a及びb) 倫理学 社会政策a及びb
教育学 経済学 法学 民法Ⅰ及びⅡ 行政法

◎ 児童福祉司任用資格

社会福祉士の資格を取得後、地方公務員として児童相談所に配属された場合に発行できます。

◎ 児童指導員任用資格

以下のいずれかの資格を取得し卒業した場合に発行できます。

- ・中学校1種(社会)、高等学校1種(公民)または高等学校1種(地理歴史)の教員免許を取得した者
- ・社会福祉士国家試験受験資格を修得した者

教職課程

教職課程の履修の仕方については、教職課程ガイダンスで別途配付するガイド等を参照してください。わからないことがあったら、教職担当教員または教務学生課教職担当にその都度確認してください。

社会福祉士養成課程プログラム(発展教育科目)

地域福祉コースに設定されている所定の科目とあわせて履修することで、社会福祉士の国家試験受験資格の取得を目指すプログラムです。受験資格を得るためには、本プログラムに設定されている科目の単位のみならず、地域福祉コースに設定されている多くの科目の単位の修得が必要となります。このため、所属するコースによっては卒業単位を大幅に超えた単位修得が求められることとなりますので、計画的な履修を心掛けてください。社会福祉士養成課程の履修の仕方については、各セメスターのはじめに行うガイダンスに出席して確認してください。また、地域福祉コースの教員にその都度聞いてください。

中・長期留学

学生が個人で所定の手続きにより外国の大学または短期大学(以下「大学等」という。)に留学し、留学先大学等における学修を本学の単位として認定するものです。詳しくは教務学生課にお問い合わせください。

(1) 留学の形態

- ① 交換留学:本学が交換留学協定を締結している外国の大学等への留学
- ② 派遣留学:本学が派遣留学協定を締結している外国の大学等への留学
- ③ 認定留学:上記以外で本学が留学先として認定した外国の大学等への留学

(2) 留学期間

留学により他の科目を履修することができない期間が1セメスター(6ヶ月)又は2セメスター(1年間)にわたる留学を長期留学、1ヶ月以上1クォーター以内の留学を中期留学とします。特別な理由がある場合には、延長申請が認められることを条件に、1回に限り、1ヶ月から最大で1年まで延長ができます。

なお、4年間で卒業するためには、留学により他の科目の履修ができない期間を、できる限り短くする必要があります。したがって、4ヶ月以内の留学の場合は、長期休業期間中に開始(S1・A1クォーターの場合)又は終了(S2・A2クォーターの場合)させるなど、長期休業期間と組み合わせて、他の科目が履修できない期間が1クォーター以内(中期留学)に収まるよう努めてください。

(3) 認定留学申請手続き

留学受け入れ先大学等からの入学許可証等を添えて、留学願を留学開始の2ヶ月前までに、教務学生課に提出して下さい。条件が満たされている場合に留学を許可いたします。

(4) 留学として認定するための必要条件

- ① 本学に1年間以上在学した者
- ② 留学願提出に先立ち、留学先大学等認定申請の手続きを定められた期間内に行っていること
- ③ 留学の目的が留学先大学等での語学研修または単位の取得であること
(但し、①についてはギャップイヤー入試による入学生と長期学外学修プログラム参加者には適用しない)

(5) 本学での単位の認定

留学期間中に修得した単位の内、本学のカリキュラムに読替可能な科目がある場合は、本学の科目の単位を取得したものと認定を行います。読替科目が無い場合や語学研修プログラム等を修了した場合は以下の科目の単位として認定します。

- ① 留学期間中に修得すべき外国語の選択必修科目(留学先で使用する言語と同一語種の場合に限る)
- ② 発展教育科目にある「実践外国語」

この際の単位数は学修時間に応じて定めるものとします。なお、成績評価はいずれも「認」となります。留学に伴う単位認定の上限は30単位とします。

(6) 留学の奨励

留学期間は最大で1年間まで在学期間に算入されます。留学期間を含めて合計4年間で卒業できるようにするため、長期留学をする学生を対象に3年次進級要件の緩和や専門演習の履修方法を変更しています。

- ① 2年次に留学する場合、3年次進級要件が緩和(留学期間により緩和される内容が異なる)されます。
- ② 3年次春学期から4年次春学期の間に留学する場合、通年科目である「専門演習(一般)」ではなく、半期科目である「専門演習(留学)」を履修します。

【留学する学生の3年次進級要件】

- 2年次に1年間留学:合計単位数を40単位以上とする
- 2年次に半年間留学:緩和なし
- 留学先から修了証が発行されない場合は、進級要件の緩和は行わない

【2024・2023・2022・2021年度入学生】

科目区分		通常又は 2年次に半期留学	2年次に 1年間留学
基礎 教育 科目	スタディー導入科目	6単位以上 (対象:基礎演習 a、基礎演習 b、現代公益論 I、現代公益論 II)	
	リテラシー科目	外国語科目	4単位以上 (英語(中国語) I~IV)
		情報科目	4単位以上 (情報リテラシー・データリテラシー)
科目の分野を問わず		36単位以上	26単位以上
合計		50単位以上	

【専門演習(留学)】

区分	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	履修	卒業単位
専門 演習	一般	専門演習 I		専門演習 II		必修 8単位
	留学				専門演習(留学) II	
			専門演習(留学) I a	専門演習(留学) I b	専門演習(留学) I c	

専門演習(留学)Ia、Ib、Ic、IIのうち、専門演習(留学)IIは必修です。

専門演習 Ia、Ib、Ic は選択必修とし、留学期間に応じて1科目2単位、または2科目4単位を修得します。

専門演習 Ia、Ib、Ic のうち、留学のために履修出来ない科目については、専門演習担当教員がメール等での教育指導を行います。なお、専門演習の一部の単位を修得しないことにより卒業に不足する単位については、専門科目または発展教育科目から修得します。

ただし、進級要件の緩和や専門演習(留学)の履修を行うには、次の条件を満たしている必要があります。

- ① 留学が2年次春学期から4年次春学期の間に行われていること
- ② 留学期間が通算で2セメスター以内であること
- ③ 留学先大学等での学修により留学後に本学で1単位以上の単位認定が行われること

(7) 留学中の学費について

条件を満たした留学の場合には、留学期間中の学生納付金を減免する制度があります。

科目ナンバリングとカリキュラムツリー

各授業科目が関連する分野や学修段階を体系的に示すことを目的に、科目のナンバリングを行っています。

◎科目ナンバリング

科目ごとに、科目群、難易度、分野に対応する記号・番号を付しています。この記号・番号は、カリキュラムツリーに関連づけられています。

例: BIZ 1 1 1
 ① ② ③ ④

- ①…科目群として、3文字の略表で表現します。
- ②…大分類として、難易度を100の位で表現します。100番台が基礎レベル、200番台が中級レベル、300番台が上級レベルの3段階です。
- ③…中分類として、学問分野等を10の位で分類します。
- ④…1桁の数字は、通し番号です。

◎カリキュラムツリー

カリキュラムツリーは、横軸は難易度(100の位)、縦軸は科目群(英字3文字)、分野(10の位)となっています。また、科目同士の関連性がわかるように線で繋がれており、全体的な体系図を概観できるようになっています。科目間の接続線の接続パターンにより系統的に履修を行う際の履修の必要性の強さを表現しています。

接続パターン	「A」から「B」に進む場合の中間科目の履修必要性の強度	備考
	強	「中間科目の少なくとも1つは履修する、もしくは全て履修するべき」という場合の表記法
	弱	「中間科目を履修するのが望ましい」という場合の表記法

□カリキュラムツリー【経営コースの学びの流れ】

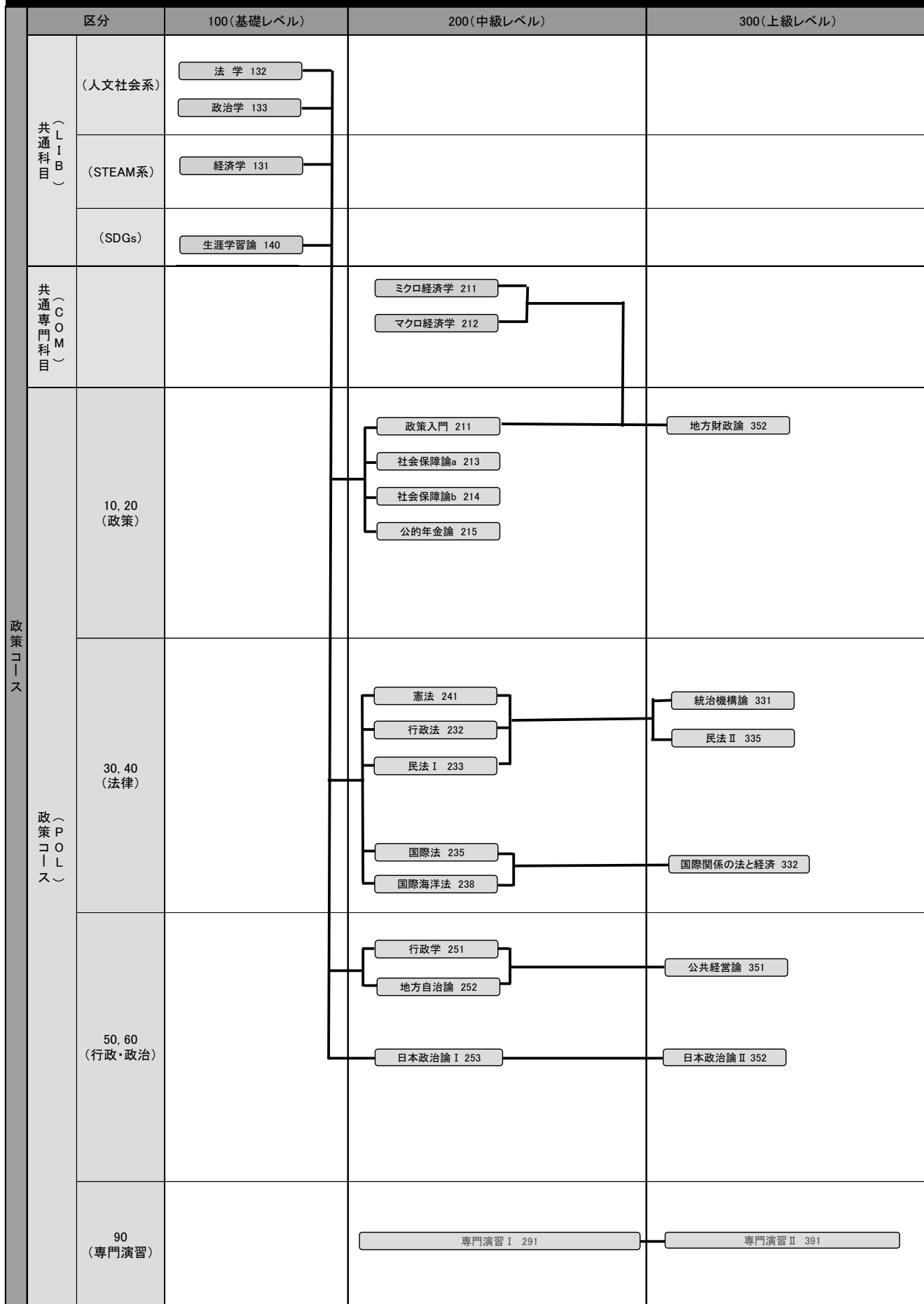
区分	100(基礎レベル)	200(中級レベル)	300(上級レベル)
10, 20 (人文社系)	心理学 121		
30, 40 (STEAM系)	経済学 131 数学a 141 数学b 142 統計学a 143 統計学b 144		
50, 60 (SDGs導入科目)	食糧とエネルギー 163 水と大気 164		
10, 20 (地球経営系)	基礎簿記Ⅰ 111	ミクロ経済学 211 マクロ経済学 212 経済史 212	経済学特論a 311 経済学特論b 312 金融論 313 産業組織論 317 ゲーム理論 318
30, 40 (経営)	経営学基礎 131 基礎簿記Ⅱ 112	経営工学a 233 経営工学b 234 経営管理論 231 経営戦略論 232 職場のメンタルヘルス 238 企業法務 244 環境マネジメント論 243 ライフサイクルアセスメント論 a	人的資源管理論 332 企業組織の心理学 337 マーケティング論 338 ライフサイクルアセスメント論 b 342
50, 60 (会計)		会計学 251 管理会計 252	企業財務分析 351 非営利組織会計 352
90 (専門演習)		専門演習Ⅰ 291	専門演習Ⅱ 391

経営コース

【経営コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	科目数 (単位数)
経営コース ①	企業経営に関心のある人	企業を取り巻く環境を把握するための経済学、市場競争を勝ち抜くための経営学、結果としての業績や経営状態を評価するための会計学をしっかりと身につける履修モデルです。経済のグローバル化に目を向けるとともに、農業や観光に豊富な資源をもつ庄内地域での企業経営を視野に入れています。	<p>【共通科目6科目】 [LIB121]心理学、[LIB141]経済学、[LIB142]数学b、[LIB143]統計学a、[LIB144]統計学b 【共通専門科目4科目】 [COM211]ミクロ経済学、[COM212]マクロ経済学、[COM111]基礎簿記Ⅰ、[COM112]基礎簿記Ⅱ、 【経営コース19科目】 [BIZ131]経営学基礎、[BIZ231]経営管理論、[BIZ232]経営戦略論、[BIZ338]マーケティング論、 [BIZ251]会計学、[BIZ252]管理会計、[BIZ351]企業財務分析、[BIZ313]金融論、 [BIZ311]経済学特論a、[BIZ312]経済学特論b、[BIZ317]産業組織論、[BIZ318]ゲーム理論、 [BIZ332]人的資源管理論、[BIZ238]職場のメンタルヘルス、[BIZ244]企業法務、 [BIZ337]企業組織の心理学、[BIZ243]環境マネジメント論、[BIZ245]ライフサイクルアセスメント論a、 [BIZ342]ライフサイクルアセスメント論b 【国際教養コース3科目】 [LA152]世界経済事情、[LA263]アジア経済論、[LA351]国際ビジネス論 【観光・まちづくりコース3科目】 [CDT217]観光産業論a、[CDT218]観光産業論b、[CDT313]第六次産業論</p>	35科目 (61単位)
経営コース ②	非営利組織に関心のある人	社会を支える主体として、政府(中央官庁や地方公共団体)や民間企業のほかに、NPOなどの非営利組織の役割の重要性が高まっています。そうした非営利組織の経営や管理に必要な知識等をしっかりと身につける履修モデルです。農業や観光に豊富な資源をもつ庄内地域における非営利組織の役割を勘案した内容になっています。	<p>【共通科目5科目】 [LIB121]心理学、[LIB143]統計学a、[LIB144]統計学b、[LIB192]倫理学 【共通専門科目4科目】 [COM221]ミクロ経済学、[COM212]マクロ経済学、[COM111]基礎簿記Ⅰ、[COM112]基礎簿記Ⅱ 【経営コース14科目】 [BIZ131]経営学基礎、[BIZ231]経営管理論、[BIZ232]経営戦略論、 [BIZ251]会計学、[BIZ351]企業財務分析、[BIZ352]非営利組織会計、 [BIZ311]経済学特論a、[BIZ312]経済学特論b、[BIZ318]ゲーム理論、[BIZ332]人的資源管理論、 [BIZ238]職場のメンタルヘルス、[BIZ337]企業組織の心理学、 [BIZ243]環境マネジメント論、[BIZ245]ライフサイクルアセスメント論a 【政策コース1科目】 [POL352]地方財政論 【観光・まちづくりコース9科目】 [CDT217]観光産業論a、[CDT218]観光産業論b、[CDT236]地域・観光資源論、 [CDT242]中心市街地の再生、[CDT312]NPO・NGO論、[CDT313]第六次産業論、 [CDT316]社会起業家論Ⅰ、[CDT317]社会起業家論Ⅱ、[CDT332]グリーンツーリズム論</p>	33科目 (58単位)

□カリキュラムツリー【政策コースの学びの流れ】

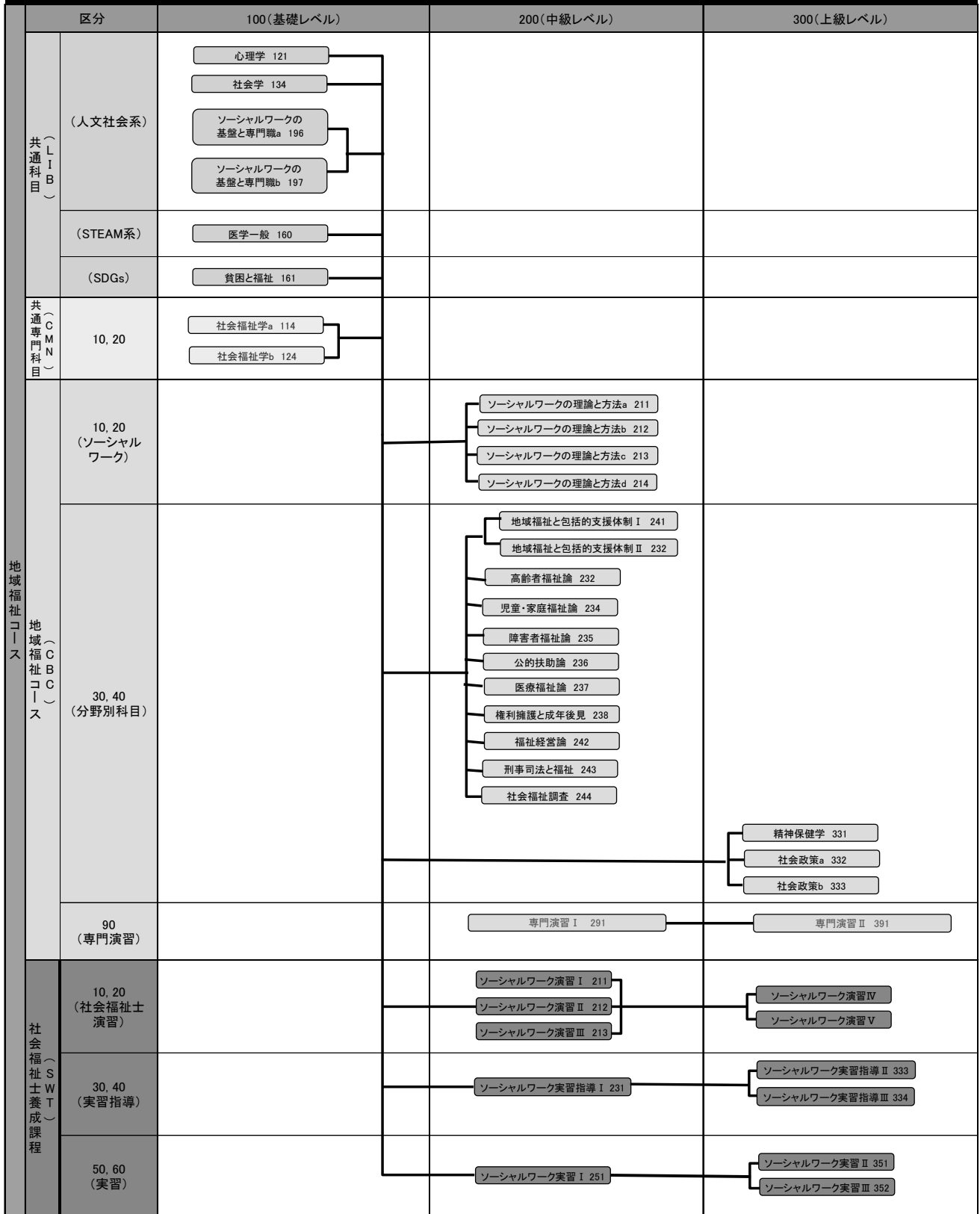


【政策コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	科目数 (単位数)
政策コース ①	国や地方自治体の公務員に関する人	公務員試験に対応するため、行政学や地方自治法をはじめ、経済分野から法律分野まで幅広く学ぶ必要がある。なお、本モデル以外の政策コース内の科目をできる限り履修することが望ましい。	<p>【共通科目 4科目】 [LIB131]経済学、[LIB132]法学、[LIB133]政治学、[LIB140]生涯学習論</p> <p>【共通専門科目 2科目】 [COM211]マクロ経済学、[COM212]ミクロ経済学</p> <p>【政策コース14科目】 [POL213]社会保障論a、[POL214]社会保障論b、[POL352]地方財政論、[POL241]憲法、[POL232]行政法、[POL233]民法Ⅰ、[POL235]国際法、[POL331]統治機構論、[POL335]民法Ⅱ、 [POL251]行政学、[POL252]地方自治論、[POL253]日本政治論Ⅰ、 [POL351]公共経営論、[POL352]日本政治論Ⅱ</p>	20科目 (40単位)
政策コース ②	政策に関心のある人・公民科担当の高校教員を目指す人・社会の仕組みを理解したい人	公共政策の考え方を理解するために、政策入門、日本政治論Ⅰなどの政策・政治に関する基本的な科目を履修する必要がある。さらに、政策に関して構想力を身に付け、国際的な視点から政策課題に取り組むためには、経済学の基本的な科目を学ぶと共に、国際法について理解し、社会保障などの個別の政策を学ぶ必要がある。	<p>【共通科目 4科目】 [LIB131]経済学、[LIB132]法学、[LIB133]政治学、[LIB140]生涯学習論</p> <p>【共通専門科目 2科目】 [COM211]マクロ経済学、[COM212]ミクロ経済学</p> <p>【政策コース15科目】 [POL211]政策入門、[POL213]社会保障論a、[POL214]社会保障論b、[POL215]公的年金論 [POL241]憲法、[POL232]行政法、[POL233]民法Ⅰ、[POL235]国際法、 [POL238]国際海洋法、[POL335]民法Ⅱ、[POL332]国際関係の法と経済、 [POL251]行政学、[POL252]地方自治論、[POL253]日本政治論Ⅰ [POL352]日本政治論Ⅱ</p>	21科目 (42単位)

※上記の科目を中心に、各自の関心と希望する進路に照らして幅広く履修してください。

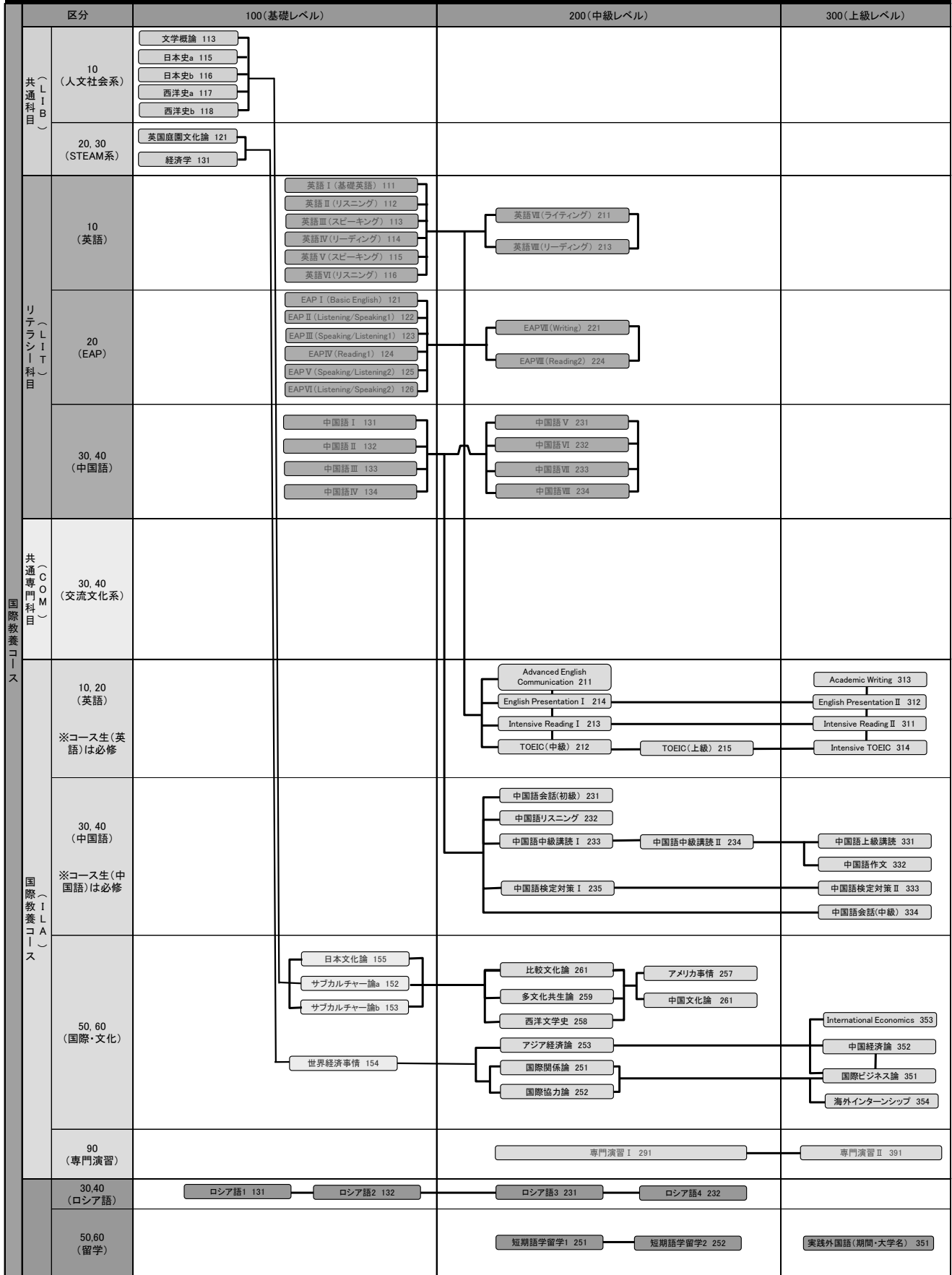
ロカリキュラムツリー【地域福祉コースおよび社会福祉士養成課程の学びの流れ】



【地域福祉コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	科目数 (単位数)
地域福祉 コース ①	地域福祉に 関心のある人	地域福祉の現状を知り、課題を発見し、分析し、その解決をめざすために、社会福祉の分野の基本的な知識、地域福祉の基本を学ぶ。さらに、地域における活動の技法、援助の基本についても学んだ上で、地域において、調査研究活動を実践する。	<p>【共通6科目】</p> <p>[LIB121]心理学、[LIB123]社会学、[LIB136]医学一般、[LIB196]ソーシャルワークの基盤と専門職a、[LIB197]ソーシャルワークの基盤と専門職b、[LIB161]貧困と福祉</p> <p>【共通専門5科目】</p> <p>[COM114]社会福祉学a、[COM124]社会福祉学b、[COM111]情報発信・ファシリテーションの技法、[COM128]社会調査論a、[COM129]社会調査論b</p> <p>【政策コース2科目】</p> <p>[POL213]社会保障論a、[POL214]社会保障論b</p> <p>【地域福祉コース15科目】</p> <p>[CBC211]ソーシャルワークの理論と方法a、[CBC212]ソーシャルワークの理論と方法b、[CBC213]ソーシャルワークの理論と方法c、[CBC214]ソーシャルワークの理論と方法d、[CBC241]地域福祉と包括的支援体制Ⅰ、[CBC232]地域福祉と包括的支援体制Ⅱ、[CBC232]高齢者福祉論、[CBC234]児童・家庭福祉論、[CBC235]障害者福祉論、[CBC236]公的扶助論、[CBC238]権利擁護と成年後見、[CBC242]福祉経営論</p> <p>[CBC331]精神保健学、[CBC332]社会政策a、[CBC333]社会政策b</p>	30科目 (55単位)
地域福祉 コース ②	社会福祉士 国家資格の 取得をめざす 人	社会福祉士になるには国家試験を受けて合格する必要があるが、その試験の受験資格を取得するためには、厚生労働省が指定する科目(下線のある科目)すべてを履修して、単位を取得する必要がある。	<p>【共通6科目】</p> <p>[LIB121]心理学、[LIB123]社会学、[LIB136]医学一般、[LIB196]ソーシャルワークの基盤と専門職a、[LIB197]ソーシャルワークの基盤と専門職b、[LIB161]貧困と福祉</p> <p>【共通専門2科目】</p> <p>[COM114]社会福祉学a、[COM124]社会福祉学b</p> <p>【政策コース2科目】</p> <p>[POL213]社会保障論a、[POL214]社会保障論b</p> <p>【地域福祉コース16科目】</p> <p>[CBC211]ソーシャルワークの理論と方法a、[CBC212]ソーシャルワークの理論と方法b、[CBC213]ソーシャルワークの理論と方法c、[CBC214]ソーシャルワークの理論と方法d、[CBC241]地域福祉と包括的支援体制Ⅰ、[CBC232]地域福祉と包括的支援体制Ⅱ、[CBC232]高齢者福祉論、[CBC234]児童・家庭福祉論、[CBC235]障害者福祉論、[CBC236]公的扶助論、[CBC237]医療福祉論、[CBC238]権利擁護と成年後見、[CBC243]福祉経営論、[CBC243]刑事司法と福祉、[CBC244]社会福祉調査</p> <p>【社会福祉士養成課程11科目】</p> <p>[SWT211]ソーシャルワーク演習Ⅰ、[SWT212]ソーシャルワーク演習Ⅱ、[SWT213]ソーシャルワーク演習Ⅲ、[SWT311]ソーシャルワーク演習Ⅳ、[SWT312]ソーシャルワーク演習Ⅴ、[SWT231]ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、[SWT333]ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、[SWT334]ソーシャルワーク実習指導Ⅲ、[SWT251]ソーシャルワーク実習Ⅰ、[SWT351]ソーシャルワーク実習Ⅱ、[SWT352]ソーシャルワーク実習Ⅲ</p>	37科目 (72単位)

□カリキュラムツリー【国際教養コースの学びの流れ】



【国際教養コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	科目数 (単位数)
国際教養 コース ①	世界の文化に関心のある人 (英語選択)	自国や他国・地域の歴史や文化を学び、多文化共生のあり方を理解する。 英語のスキルが習得できるよう英語科目を9科目履修する。	【共通6科目】 [LIB113]文学概論、[LIB115]日本史a、[LIB116]日本史b、[LIB117]西洋史a、[LIB118]西洋史b、 [LIB121]英国庭園文化論 【国際教養コース17科目】 [LA155]日本文化論、[LA152]サブカルチャー論a、[LA153]サブカルチャー論b、 [LA261]比較文化論、[LA259]多文化共生論、[LA257]アメリカ事情、[LA258]西洋文学史、 [LA353]International Economics、[LA211]Advanced English ILAmunication、[LA313]Academic Writing、 [LA214]English Presentation I、[LA312]English Presentation II、[LA213]Intensive Reading I、 [LA311]Intensive Reading II、[LA212]TOEIC(中級)、[LA215]TOEIC(上級)、[LA314]Intensive TOEIC [EFL251]短期語学留学(2単位)	24科目 (37単位)※ ※短期語学留学の単位数を除く
国際教養 コース ②	国際的な仕事に関心のある人 (英語選択)	国際間および国際的な課題について学ぶとともに、国際間のビジネスのあり方、課題を理解する。英語のスキルが習得できるよう英語科目を9科目履修する。	【共通5科目】 [LIB115]日本史a、[LIB116]日本史b、[LIB117]西洋史a、[LIB118]西洋史b、[LIB131]経済学 【経営コース1科目】 [BIZ237]マーケティング論 【国際共通コース19科目】 [LA155]日本文化論、[LA134]世界経済事情、[LA251]国際関係論、[LA252]国際協力論、 [LA259]多文化共生論、[LA351]国際ビジネス論、[LA353]International Economics、 [LA211]Advanced English Communication、[LA313] Academic Writing、[LA214]English Presentation I [LA312]English Presentation II、[LA213]Intensive Reading I、[LA311]Intensive Reading II、 [LA212]TOEIC(中級)、[LA215]TOEIC(上級)、[LA314]Intensive TOEIC 【観光・まちづくりコース2科目】 [ODT222]国際観光論a、[ODT223]国際観光論b 【短期語学留学1科目】 [EFL251]短期語学留学(2単位)	25科目 (39単位)※ ※短期語学留学の単位数を除く
国際教養 コース ③	中国文化と東アジアのビジネスに関心のある人 (中国語選択)	自国や中国や東アジアの文化や経済を学び、地域の国際化の課題を理解する。 中国語のスキルが習得できるよう中国語科目を9科目履修する。	【共通4科目】 [LIB113]文学概論、[LIB115]日本史a、[LIB116]日本史b、[LIB131]経済学 【国際共通コース18科目】 [LA155]日本文化論、[LA134]世界経済事情 [LA251]国際関係論、[LA252]国際協力論、[LA259]多文化共生論、[LA253]アジア経済論、 [LA352]国際経済論、[LA261]中国文化論、[LA261]比較文化論、 [LA231]中国語会話(初級)、[LA232]中国語リスニング、 [LA233]中国語中級講読 I、[LA234]中国語中級講読 II、[LA235]中国語検定対策 I、 [LA331]中国語上級講読、[LA332]中国語作文、[LA333]中国語検定対策 II、 [LA334]中国語会話(中級) 【短期語学留学1科目】 [EFL251]短期語学留学(2単位)	23科目 (37単位)※ ※短期語学留学の単位数を除く

□カリキュラムツリー【観光・まちづくりコースの学びの流れ】

区分		100(基礎レベル)	200(中級レベル)	300(上級レベル)
基礎教育科目 (LIB)	人文社会系	環境社会学 112 社会学 123 自然地理学a 171 人文地理学a 182	※履修の際は、【観光・まちづくりコース】基本履修モデルを参考にしてください。	
	STEAM系	統計学a 143 統計学b 144 英語圏文化論 135		
	SDGsプログラム	ジェンダー論 137 都市と交通 162 海ごみ問題と循環型社会デザイン		
共通専門科目 (COM)	(共通)	情報発信・ファシリテーションの技法 111 観光・まちづくり概論a 118 観光・まちづくり概論b 119 社会調査論a 128 社会調査論b 129		
	(経営)			マーケティング論 247
観光・まちづくりコース (POL)	(政策)			地方自治論 252 統治機構論 233
	(国際)		日本文化論 151 サブカルチャー論a 161 サブカルチャー論b 162	
観光・まちづくりコース (CDT)	10, 20 (産業と政策)		観光産業論a 217 観光産業論b 218 観光政策論a 219 観光政策論b 220 国際観光論a 222 国際観光論b 223	第六次産業論 313 NPO・NGO論 314 社会起業家論 I 316 社会起業家論 II 317
	30, 40 (社会と文化)		中山間・離島地域論 234 地域・観光資源論 236 人文地理学b 237 日本地誌 238 自然環境と保全と共生 241 風景のデザインb 243 民俗学と観光 I 247 民俗学と観光 II 248	余暇と観光の社会学 331 グリーンツーリズム論 351
	50, 60 (技法と実践)		風景のデザインa 251 中心市街地の再生 252 観光・まちづくり演習a 254 観光・まちづくり演習b 264	
	90 (専門演習)		専門演習 I 291	専門演習 II 391

【観光・まちづくりコース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	科目数(単位数)
観光・まちづくりコース①	観光産業や地域観光に関心のある人	観光産業に携わる上で必要となる観光関連科目(各種観光論)はもちろん、人々が観光に何を望んでいるのか、観光を産業として成り立たせるために何が必要か、グローバル化の中で、海外の人々は何に魅力を感じるのか等、幅広く学び、地域をフィールドとして実践する機会も豊富に提供します。	<p>【人文社会系3科目(5単位)】 [LIB112]環境社会学、[LIB123]社会学、[LIB182]人文地理学a</p> <p>【STEAM系3科目(4単位)】 [LIV135]英国庭園文化論、[LIV143]統計学a、[LIV144]統計学b</p> <p>【SDGsプログラム2科目(4単位)】 [LIB]ジェンダー論、[LIB162]都市と交通</p> <p>【経営コース1科目(2単位)】 [BIZ247]マーケティング論</p> <p>【国際コース3科目(4単位)】 [LIB151]日本文化論、[LA161]サブカルチャー論a、[LA162]サブカルチャー論b</p> <p>【共通専門5科目(5単位)】 [COM111]情報発信・フアンリレーションの技法、[COM118]観光・まちづくり概論a、[COM119]観光・まちづくり概論b、[COM128]社会調査論a、[COM129]社会調査論b</p> <p>【観光・まちづくりコース16科目(20単位)】 [CDT217]観光産業論a、[CDT218]観光産業論b、[CDT223]観光政策論a、[CDT224]観光政策論b [CDT212]国際観光論a、[CDT222]国際観光論b、[CDT244]地域・観光資源論、 [CDT237]民俗学と観光Ⅰ、[CDT238]民俗学と観光Ⅱ、[CDT252]中心市街地の再生、 [CDT253]風景のデザインa、[CDT243]風景のデザインb、[CDT254]観光・まちづくり演習a、 [CDT255]観光・まちづくり演習b、[CDT331]余暇と観光の社会学、[CDT351]グリーンツーリズム論</p>	33科目(44単位)
観光・まちづくりコース②	まちづくりや地域の活性化に関心のある人	私たちの住む「まち」や「ムラ」がどのようなか、地域が潤うのか、地域を支える人々(定住人口)を増やすためにはどうすればよいかを、人々の交流、自然のあり方、産業振興等に関係した科目を学びながら、地域の中で実践し、身に付けていきます。	<p>【人文社会系3科目(5単位)】 [LIB112]環境社会学、[LIB123]社会学、[LIB182]人文地理学a、</p> <p>【STEAM系2科目(2単位)】 [LIV143]統計学a、[LIV144]統計学b</p> <p>【SDGsプログラム科目(4単位)】 [LIB]ジェンダー論、[LIB]海ごみ問題と循環型社会デザイン</p> <p>【政策コース1科目(2単位)】 [POL252]地方自治論</p> <p>【共通専門5科目(5単位)】 [COM111]情報発信・フアンリレーションの技法、[COM118]観光・まちづくり概論a、 [COM119]観光・まちづくり概論b、[COM128]社会調査論a、[COM129]社会調査論b</p> <p>【観光・まちづくりコース14科目(21単位)】 [CDT234]中山間・離島地域論、 [CDT252]中心市街地の再生、[CDT236]地域・観光資源論、[CDT270]人文地理学b、 [CDT271]日本地誌、[CDT233]自然環境の保全と共生、[CDT253]風景のデザインa、 [CDT243]風景のデザインb、[CDT254]観光・まちづくり演習a、[CDT255]観光・まちづくり演習b [CDT323]第六次産業論、[CDT314]NPO・NGO論、[CDT316]社会起業家論Ⅰ、 [CDT317]社会起業家論Ⅱ、[CDT351]グリーンツーリズム論</p>	27科目(39単位)

ロカリキュラムツリー【メディア情報コースの学びの流れ】

